

陳情番号	126
付託先委員会	総務文教委員会
審査結果等	

令和6年2月9日

浜田市議会議長 笹田 卓 様

住所 浜田市松原町

氏名 西川 真午

郷土資料館・石見神楽伝承館整備の検討において 市民主体の手法を取り入れることを求める陳情について

【陳情の趣旨】

令和6年2月6日の全員協議会で市長より説明のあった「三桜酒造跡地活用等についての対応方針」において、郷土資料館と石見神楽伝承館を複合施設として検討する方針が示されましたが、これについてはこれまでに市民への説明が行われておらず、市民の理解が得られていません。

このまま進むと、現在の郷土資料館の4倍もの面積の施設に、10億円以上の費用がかかる整備計画がまた唐突に市民に示されることになり、市政に混乱をまねきかねず郷土資料館の再整備の時期はまた遠のきます。

浜田市が目指す市民主体のまちづくりを進めるためにも、市民の声を聴き対話を重ねる必要があります。

市民主体のまちづくりの手法のひとつに、政策シンクタンクの『構想日本』が行っている『住民協議会』があり、松江市でも『自分ごと化会議』として市民主催で行われています。

郷土資料館と石見神楽伝承館の整備については、浜田市のまちづくりの今後を左右する重要な案件であり、外部のコンサルタントや専門家に任せるのではなく、上記の手法を取り入れるなどして、市民主体で進める仕組みづくりを検討し、執行部に提案することを議会に求めます。

